

(様式1)

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入して下さい。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点]（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
（他に「家族」に限定する項目がある）

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	社会福祉法人郡山双葉会 グループホームなごみ筒井						
(ユニット名)							
所在地 (県・市町村名)	大和郡山市筒井町1535番地						
記入者名 (管理者)	中村 太						
記入日	平成	21	年	2	月	25	日

自己評価票

<p>項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</p>
<p>I. 理念に基づく運営</p> <p>1. 理念と共有</p>			
<p>1</p>	<p>○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>法人の理念を基本として、ホームとして「感謝の心、助け合いの気持ち」を大切に、いつまでも生きがいを持って、社会と関われるよう支援し、地域との交流にも積極的に参画する。という理念を掲げている。</p>	
<p>2</p>	<p>○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>地域密着型サービスとなって、社会交流（地域との交流）を目的に昔ながらの近所付き合いを行えるように、取り組んでいる。</p>	
<p>3</p>	<p>○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>直近の運営推進会議で、平成21年度の目標を報告した時に、運営理念・運営方針も改め報告し理解して頂いている。</p>	<p>○ 昨年の外部評価で、提示方法を指摘を受け、木造のつくりにはマッチした様式で壁に張り出している。</p>
<p>2. 地域との支えあい</p>			
<p>4</p>	<p>○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>お話し会や音楽リハビリなど行事をするとき、ご近所の方をお誘いしたりしている。また、サロンを通じてご近所の方が気軽に声をかけて頂いたり、野菜やお漬物などの差し入れをして頂いたり交流を図っている。</p>	
<p>5</p>	<p>○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会に加入させて頂き、「ほのぼのサロン」に月1回参加し、地域のお年寄りの方々とも交流を行っている。また、地域の行事にも積極的に参加している。また、近隣散歩に出かけている時、すれ違う方々より、気軽に挨拶を交わしたりしている。</p>	

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>ご近所との交流が図られ、ホームでの行事にも参加していただいたり、もちつき大会のときには、ご近所にビラを配布してお招きしたり交流がとれている。</p>		<p>新しい試みとして、前の庭を利用して定期的にお話し会を開いたり、地域のお年寄りを招いて昼食会を開いていきたい。と計画している。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価で指摘を受けた点について、改善できるように取り組んでいる。また、ご家族様からも指摘を受けた点についても、改善できることは全職員と話し合い、取り組んでいる。</p>		
<p>8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>自治会の一員として、見ていただいております。自治会の活動にも積極的に参加させて頂いている。運営推進会議では、ホームとして地域に発信できる体制を整えていただいております。自治会からもご意見をいただき、サービスの向上に努めている。</p>		
<p>9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>平成20年度について、市から介護相談員を派遣していただき、年に1回、市の要請で派遣事業を利用している事業所の交流会の場を設けて頂いている。様々な角度から意見が出され、サービスの向上につなげている。</p>		
<p>10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見制度について、全職員は周知しているが、必要な入居者には支援できる体制がとれていない。</p>	○	<p>職員一人一人が内容を入居者様、ご家族様に説明できるところまでにはいたっていない。今後、研修会への参加を積極的に行っていきたい。</p>
<p>11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員間では、虐待については理解しているが、勉強会は持たれていない。</p>	○	<p>虐待防止について外部の研修会に、積極的に参加できる体制を整えていきたい。また、書物を提供できる体制をも整えていきたい。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>4. 理念を実践するための体制</p>			
<p>12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を結ぶ際、ご家族様には十分に理解していただくように、意見交換をしながら十分理解してもらってから契約するようにしている。</p>		
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者様との会話をするのなかで、不満や苦情を言いやすい雰囲気を作りながら、入居者様の訴えに対して、職員間で話し合ったり、希望に沿えるように取り組んでいる。</p>		
<p>14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご来訪時や電話にて、ご家族様に近況報告を、変化があるごとに行っている。</p>	<p>○</p>	<p>昨年の9月に家族会を開催し、ご家族様から月1回話し合いを持ってもらうように。と要望されたが、現実には、2、3ヶ月に1回ぐらいしか持っていない。今後、時間的な制約もあるが、定期的に行っていきたい。</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を年2回開催し、ご家族様からのご意見をお伺いする機会を設けている。また、契約時に外部の苦情受付期間も合わせて紹介している。</p>		
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職場の改善に向けて、職員の要望や意見などききいれながら、業務に反映できるようにしている。また、提案も随時、聞くようにしている。</p>		
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員会議や行事を予定している時など、勤務の調整を図っている。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取り組んでいき たい項目)</p>	<p>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職者を出さないように離職者の意見を十分に聞き入れ努力はしている。相変わらず離職者を出しているが、入居者様へのダメージを最小限に抑えるように努力している。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>県主催の認知症実務者研修に交代で受講している。また、実務者リーダー研修にも受講している。また、勤務しながら介護福祉士の資格習得に努めるようにしている。</p>		
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会に加入し、研修会にも参加しており、研修の合間に意見交換に努めている。</p>	○	<p>今後、他のグループホームとの意見交換やホームでの研修などを取り入れていきたい。</p>
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>公休を月に1～2回は連休を取れるように工夫している。</p>	○	<p>ストレス軽減に向けて、悩みや定期的に話し合いの場をもつようにしていきたい。</p>
<p>22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		○	<p>研修等について自己研鑽できる様に配慮していきたい。また、</p>

<p>項目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいきたい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
<p>23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>見学・面接時に聞き取り、体験入居を行い傾聴に努めている。</p>		
<p>24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>御家族様の悩みや苦労をお話頂くことによって、ストレス等が軽減できる様に、傾聴に努めている。</p>		
<p>25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>体験入居を通して、ご本人に適しているかどうか様子観察を行っている。適応しない場合、他のサービスを利用できる様に、援助している。</p>		
<p>26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>グループホームの雰囲気を肌で感じてもらうために、入居前に体験入居を行っていただいている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活において、なにげない会話のやり取りのなかで、教えられたりすることがあり、また、表情や顔色などを気かけながら、不安を抱いている時など親身になって寄り添い、不安を取り除くように努めている。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>時には、ご家族様に相談しながら、職員と一体となってより良いケアを心がけている。</p>		
<p>29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ご家族様のご本人様に対する思いや辛かったことなど、悩みなどを受け止めながら、ご家族様とご本人様との関係がうまくいくように努めている。</p>		
<p>30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>居室にご家族様が訪問時に、ご本人様と一緒に記念写真をとったりして、居室に飾ったりしている。</p>		
<p>31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>重苦しい雰囲気の時、職員が間に入りその場を和むように取り計らったり、入居者様のトラブルにならないように注意を払っている。</p>		
<p>32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>長期入院や入院先でお亡くなりになられた方が、殆どで取り組みはできていない。</p>	<p>○</p>	<p>今後、その様なケースがでてきた場合、継続して関わりがと持てるように、努めていきたい。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
<p>33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者様の思いや希望を尊重しながら、穏やかに生活が送れるようにケアを提供している</p>		
<p>34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所前や体験入居を利用されている時に、ご家族様から生活歴や日々の暮らし方などを聞きながら、情報を収集し、把握に努めている。</p>		
<p>35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人一人の生活パターンを把握しながら、一日の流れのなかで、全職員が気づいた点を出し合い、申し送り（気づきの用紙に記入）時に、申し送っている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
<p>36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用してケアプランの作成に、最近取り組んでいる。また、月1回職員会議でケースカンファレンスを開き、気づいた点を出し合い、ケアプランに反映させるか、話し合いをその都度行っている。</p>	○	<p>センター方式を定着させるために、外部の研修会に参加していきたい。</p>
<p>37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月1回の職員会議のときにカンファレンスを持ち、ケアプランの検討も行っている。また、ご家族様の意見を参考にしながら、職員、ご家族様の意見を融合して、作成にあたっている。</p>	○	<p>今後も、ご家族様の意見を組み入れる機会を設けて（話し合いの場を設定）取組んでいきたい。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の日々の様子は記録に残しておくようにしている。また、日々の気づいた点についても申し送りするときに、報告できるように残している。月に1回職員会議時に、カンファレンスを行って介護計画が必要かどうか意見を出し合っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
<p>39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>体調の変化や要望に応じて、医療機関への受診や要望にこたえられる様に、柔軟に対応している。</p>		
<p>うに</p>			
<p>40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>御家族様からの紹介で語りべの会（お話会のボランティアグループ）や音楽リハビリなどのボランティアの方々が月交代で訪問していただいたり、消防署から消火訓練に年2回来て頂いてる。新たに運営推進会議でボランティアの紹介もして頂いている。</p>		
<p>41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>ご家族様からの希望、要望があがれば他のサービスを受けられるように調整させて頂いている。</p>	○	<p>今後も、ご家族様よりご意見があがれば、希望に沿うようなサービス事業者を探していきたい。</p>
<p>42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議の時に、認知症について勉強会を開催して頂いたりしたが、その他には協働が図れていない。</p>	○	<p>今後について、権利擁護事業の学習会などにお招きして、まず、交流をはかっていきたい。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>開設当時からホームより定期健診に毎月お連れさせていただいている。体調の変化を未然に防ぐために、予防を含めて早め早めに病院受診を行っている。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>現在、認知症専門医の診察を受けている方がおられ、家族会開催時に、講演して頂くことになっており、職員自ら相談に乗っていただける関係を築いているところである。また、施設外来の枠を利用して診察が受けられる様にさせていただいている。</p>		
<p>45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>現在、2名の方が訪問看護を受けている。月2回の訪問だが、情報のやり取りを行っている。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>スタッフがほとんど毎日病院等に出向き病院関係者と情報交換を行っている。また、早期退院ができるように歩行の介助なども行っている。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>かかりつけ医との間では、終末期の医療関係については、体制作りができていますが、ご家族様やご本人については、話し合いが取れていない。</p>	○	御家族様と話し合いの場を設定していきたい。
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>スタッフ間では、不安もあるが看取りの介護をしていきたいと考えている。かかりつけ医との協力体制の話し合いもおこなっている。また、ご家族の協力体制がとれているところもある。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入院時や居所が変更となった場合、情報提供は、ケア関係者に書面などで、十分に行っている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録等の個人情報については、目につきやすい場所に置かないようにしている。一人ひとりの個人として人生の先輩として、尊敬の気持ちを持続させながら、声かけを行っている。が、つい、理解していただくとして、声が自然と大きくなり、怒鳴っているように聞こえることがある。</p>	○	<p>職員同士が見守りあいながら、注意しあいながら行っていきたい。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日常生活において、一人一人に合わせて、うまく表現できるように、分かりやすい声かけで説明し、誘導してあげる。また、自己決定ができるように支援している。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの生活のリズムを大切に、希望や要望を最優先できる様に柔軟に対応している。</p>	○	<p>ある程度生活のリズムができている方もおられるが、逆に職員サイドで作っているのではないかと疑問に思う時がある。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>散歩を兼ねて、近隣の美容室等を利用したり、最近、訪問利用なども利用している。</p>		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>各個人のできる範囲で、食事の準備、後片付けを職員と一緒にしている。また、寄せ鍋やすき焼き、外食など好みを聞いて、楽しんで頂けるように取り組んでいる。</p>		
<p>55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒やタバコなど飲まれる方がいない。15時のおやつ時間に、時々、職員と入居者と一緒におやつ作りを通して、楽しんで頂いている。</p>		
<p>56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄表に記録することで、各個人の排泄パターンの把握に努めて、リハビリパンツや尿とりパッドの使用を減らす為に、トイレの声かけやトイレ誘導を行っている。</p>		<p>現在、日中に尿とりパッドを利用していた方が使用しなくなっている。</p>
<p>57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴の回数や時間などについては、本人の意思やタイミングなどに応じて行っている。</p>		
<p>58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>就寝、起床など特に定めておらず、生活パターンに応じて対応している。また、日中の顔色や表情、夜間の睡眠状況を観察しながら、体調に合わせて横になってもらったりしている。</p>		
<p>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</p>			
<p>59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人一人に役割を持っていただけるような、働きかけを行っている。また、日常生活の会話のなかで、希望、要望などを聞き出せるように勤めている。</p>	<p>○</p>	

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ホームで消費される物品については、入居者様数名と職印が一緒になって買い物に出かけるが、個人個人の分買うという行為をすることがなくなってきている。</p>	<p>○</p>	<p>お買い物に行く時、ご家族と相談しながら、お金を持っていただき、すきなものが購入できるように支援していきたい。</p>
<p>61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気や気候の良い時には、散歩に出かけるように勤めている。</p>		
<p>62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>天気や気候の良い時には、車でドライブに出かけたり、外食する機会を設けたりして、支援している。</p>	<p>○</p>	<p>行事へのご家族様の参加について、なごみ便りで案内しているが、今後、積極的にアプローチしていきたい。</p>
<p>63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の取次ぎや郵便物など、自由に行っている。</p>		
<p>64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>訪問時間の制約はなく、自由に訪問できるようにしている。</p>		
<p>(4) 安心と安全を支える支援</p>			
<p>65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束についての理解はしているが、学習する機会が設けられていない。</p>	<p>○</p>	<p>職員会議で今後、勉強会を行ったり、外部の研修に積極的に参加していきたい。</p>

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p><u>66</u> ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員は、鍵をかけないケアは理解している。しかし、ご家族様が来訪時に急に部屋に入られることがあった為、やむを得ず鍵をかけている。</p>		
<p>67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>居室に閉じこもらないようにしている。中には、体調の管理面で居室で横になっている方もあるが、日中、定期的に様子観察を行っている。夜間は、1時間に1回、必ず巡視をしており、安全確認を行っている。</p>		
<p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>包丁やはさみ、裁縫道具など、使用して頂いているが、使用時には、必ず見守りを行っており、終われば保管場所を固定し、危険を取り除いている。</p>		
<p>69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>「ひやりハット」ノートを作成し、一つの事故を全職員が共有できるように、また、事故を起こさないことを、再確認してもらい事故防止に取り組んでいる。</p>		
<p>70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>救命講習会に参加したり、緊急時の対応について、教材を用意していつでも閲覧できるようにしている。</p>	○	救命講習会に毎年参加できるような体制を取っていききたい。
<p><u>71</u> ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>自治会に協力要請を図り、緊急時に救急班を派遣していただけることになっている。また、法人役員の方々にも協力要請している。月1回、避難訓練を実施し、誘導の経路の確認を行っている。</p>	○	ホーム内には、段差もあり非難誘導時に必要な備品（スロープ、手すり）などの取り付け、購入を検討している。

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>御家族様が来訪時に、近況報告を行っている。その時に起こりうることについても、報告している。</p>		
<p>73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>顔色や体調の変化に注意し、バイタルチェックを行っている。変化が生じた場合、主治医の診察を受けるようにしている。その日の体調の変化については、口頭で申し送る他、申し送りノートに記録し、全職員に周知徹底している。</p>		
<p>74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>各個人ファイルに薬の説明書を綴り、全職員が確認出来る様にしている。薬の変更については、申し送りノートに記録し、全職員に周知している。</p>		
<p>75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>朝と夕方の引継ぎする際、1日の行動を把握する他、排泄の状況を確認し、排便のない方について、運動を取り入れたり、腹部のマッサージや水分補給に牛乳を飲んで頂いたり、便秘予防に努めている。</p>		
<p>76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアを行っている。その他、週1回の歯科訪問時、歯科衛生士に一人一人口腔ケアをしていただいている。</p>		
<p><u>77</u> ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの摂取量については、毎食チェックしており、全量召し上がっていただくように、咀嚼できないようであれば、その人に合わせて、刻みにしたり味付けについて工夫している。</p>		

項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	昨年、ノロウイルスが発症し、排泄物の処理の仕方や食器の消毒の仕方など、保健所から指導を受けて、マニュアルを作成し、実施している。	○	ノロウイルスの他の感染予防マニュアルについては、作成中である。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材については、ほとんど毎日、宅配業者から配達して頂いており、調理器具について、日々、煮沸消毒して、衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	内玄関には、プランターにお花を植えたり、栽培したりして、出来るだけ家庭的な雰囲気を作るようにしている。ただ、門扉は、閉ざされたままで入りにくい雰囲気があると思われる。	○	定期的に門扉の開閉について、誰もが気軽に立ち寄れるように、オープン化を図っていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースには、食堂に季節の花を置いたりして、季節感を取り入れたりしている。また、食堂やリビングには、床暖房を設置し過ごしやすくしている。しかし、トイレや洗面所、廊下などは、冷暖房の設備がなく、不快な思いを与えている。	○	冬場や夏場は、リビングや食堂には冷暖房を設置しているが、廊下や洗面所には、電気ストーブや扇風機の設備しかなく、快適には送られていない。その場所に冷暖房の設置を検討していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを置き、または、食堂などでも、いつでもくつろげる様にしている。しかし、リビングで一人になれるほどスペースはなく、思い思いにくつろいでいただいている。		

<p>項 目 (下線数字は外部評価との共通評価項目です)</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいき たい項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居される時、ご自宅で使用されていた物を持 って着ていただくようにしている。また、各居室 には写真などを飾っていただき、お部屋の雰 囲気を作り出すようにしている。</p>		
<p>84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている</p>	<p>居室には、冷暖房を設置されており、夜間、加 湿器を各居室に設置し、温度調整並びに乾 燥しないように配慮している。毎日の掃除 の時に、空気の入れ替えを行っている。</p>		
<p>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している</p>	<p>古民家を改修してホームとして活用して おり、所々に段差があり、入居者様の ADLの低下に伴い、手すりが必要にな ったり、車椅子が必要になったりして いる。が、出来る限り自立して頂く 様に、介助している。</p>	○	<p>手すりが必要な所には、取り付けを検討 し、自立へ向けての手助けになればと考 えている。</p>
<p>86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している</p>	<p>大きな声や解りやすい言葉かけでゆ っくり話し、理解が得られるように、 心がけている。また、言葉の理解が 難しいかたについては、手振りや仕 草をとりいれながら、接している。</p>		
<p>87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が 楽しんだり、活動できるように活 かしている</p>	<p>家庭菜園で野菜の栽培を通じて収穫 の喜びを感じながら、楽しんで頂 いている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日課として毎日、ラジオ体操取り入れている。気候のよい時など公園や季節に応じて、花見などに全員でお出かけしてる。